

12月2日～11日  
茨城県議選

3つの争点

# 違いハッキリ 日本共産党

あなたの1票が茨城と日本の未来を決めます



争点1  
暮らし

大型開発優先、保健所削減、医療は全国最低クラスの県政

## 全国8位の茨城県 財政力で暮らし応援

大型開発優先で、県民に冷たい予算に、自民・公明、立民らが賛成して、大井川県政をあと押ししています。日本共産党女性現職は全国8位の茨城県の財政力をいかして、県民の暮らしを支えます。(裏面政策参照)

賃上げと消費税減税で、物価高から生活を守る 大企業の増えた内部留保で 中小企業の賃上げ支援を。

### 茨城県

10万人当たり  
医師数 **46位**  
准・看護師数 **43位**  
一般診療所数 **44位**

### 県議会の態度

	日本共産党	自民党公明党	立憲民主党
高い水道料金おしつけ 水開発予算の <b>霞ヶ浦導水事業</b>	✕ 反対	○ 賛成	○ 賛成
コロナ対応で重要な <b>保健所の削減</b> (12→9カ所)	✕ 反対	○ 賛成	○ 賛成
物価高騰対策 <b>消費税減税</b> 意見書	○ 賛成	✕ 反対	✕ 反対
統一協会問題 <b>徹底究明と被害者救済</b> 意見書	○ 賛成	✕ 反対	✕ 反対
東海第2原発など <b>原発推進方針撤回</b> 意見書	○ 賛成	✕ 反対	✕ 反対

争点2  
国政

統一協会癒着、「死刑のハンコ」、「政治とカネ」で大臣辞任

## 打倒!岸田政権、国のひどい政治と対決

3年前、自民党の加藤明良参院議員が統一協会関連団体の会合であいさつ。県議会で日本共産党は「旧統一協会問題の徹底究明と被害者救済」の意見書を提案しました。「自民ノー」の1票を日本共産党女性現職へ託して下さい。

争点3  
原発

日本一古く、地震も多発、避難計画も不可能

## 東海第2原発再稼働ストップ

原発関連企業や電力会社から献金を受け取らない日本共産党だから、原発ゼロでぶれません。

省エネと再エネ普及で  
気候危機打開

維新の会  
は...

統一協会と蜜月  
●馬場代表、藤田幹事長ら  
15人の国会議員が接点

原発再稼働を要求  
●「安全な原発、短期稼働を」  
(松井前代表・「日経」2022年6月22日)

12月3～11日 投票に行こう!

日本共産党  
女性現職に1票を



元県議員 大内久美子  
原発の避難計画や日立産廃、パワハラ問題など知事を追いつめた質問。議場に緊張が広がりました。明るく、たくましい県民の味方・女性現職を何としても押し上げてください。



東海第2原発訴訟原告  
花山ちひろ  
長男の出産直後に福島第一原発事故があり、放射能汚染に脅かされたことがすごくショックでした。日本共産党の女性県議さんは同じ思いで、いつもいっしょに声をあげてくれる、私たちの仲間です。



城南病院医師 加賀美理帆  
長引くコロナ禍、医療・介護福祉の現場ではぎりぎりの体制の中で日々患者さん・利用者さんに向き合い頑張っています。命と生活と健康を守る県政を切に希望し、その願いにずっと応えて来た女性現職に期待します。



2児の母 吉井京湖  
学童クラブがいっしょで、子育てのいろんな悩みや相談にのってくれた女性現職。願いを県政に届けてくれる子育てママの代表です。ひきつづき議会で活躍してください。

子育ての  
頼れる味方

# 女性現職はやります

**日本共産党** あなたの1票が実現する力です



## 子育て支援 3つのゼロを

●3つのゼロは県予算の約1.1%でできます。



県と市町村で連携し

### 給食費ゼロ

市町村と折半で約50億円



18歳まで

あと約48億円

### 医療費・国保税ゼロ

- 子ども医療費の一部負担をなくす
- 18歳まで国保税の均等割をなくす



0～2歳まで

### 保育料ゼロ

市町村と折半で約45億円

## 全国8位の財政力をいかす

高齢者  
に安心



デマンドタクシー

### 地域交通

へ県補助

- 補聴器購入に補助、介護保険の負担軽減
- 食料自給率向上、家族農業守る

いのち  
を守る



### 医療・保健所

体制の強化

- 医療・介護・保育などケア労働者の待遇改善
- 障がい者、難病、精神疾患への支援強化

男女賃金格差をなくす **ジェンダー平等**

財源はあります

一般会計予算

**1兆2816億円**

ためこんだ基金

**722億円**

- 霞ヶ浦導水事業や常陸那珂港など大型開発の見直し

**1票争う大激戦**  
**共産女性現職を**  
**押し上げてください**

### 子ども医療費補助の拡充 願い実現へあきらめない1票

高校卒業まで実現すべきと求めたとき、自民議員が「そんなことできるわけない」とヤジ。

あきらめず住民とともに要求を続けて、今年4月、県内全市町村で高校卒業まで補助を実現することができました。

### 子どもの国保税が軽減 負担増に「待った」の1票

女性現職は「子どもが多い世帯ほど国保税が高くなるのは、子育て支援に逆行。負担軽減を」と質問。4月から、就学前まで国保均等割が半額に。県交付金を活用して、多くの市町村でさらに軽減されました。

### 「子どもを放射能にさらしたくない」 原発ゼロでぶれない1票

昨年、水戸地裁は避難計画の不備を理由に、東海第二原発の差し止めの判決を出しました。

女性現職は「県民を避難所でタタミ1畳分のスペースに押し込める県の避難計画では、命も人格も守れない」と追及。避難は不可能です。